

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

赤間地区

令和7年11月

福岡県宗像市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	宗像市	地区名	赤間地区			面積	143ha
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	217百万円	国費率	0.45		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名															
		基幹事業	公園(熊越池公園再整備事業)、地域生活基盤施設(赤間文教町地区地域防災施設整備事業、赤間地区地域防災施設整備事業)														
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		基幹事業	道路(陵厳寺24号線等道路改良事業)					中学校の配置計画変更に伴い、整備箇所を変更したため事業削除			影響なし						
		提案事業	まちづくり活動推進事業(特別支援教育強化事業、大学連携強化事業)					特別支援教育強化事業、県立古賀特別支援学校と市立学校の連携強化により、専門知識等の共有が可能となったため事業削除 大学連携強化事業:連携コーディネーターを本市職員として配置することに伴う事業削除			影響なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	新たに追加した事業	基幹事業	道路(赤間14号線道路改良事業)					中学校の配置計画変更に伴い、陵厳寺24号線等から整備箇所を変更したため事業追加			影響なし						
		提案事業															
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	交付期間の変更	当 初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響												
		変 更															
4)定性的な効果発現状況	指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期					
	指標1	災害時避難者対応率	%	88.8	R1	100	R6	モニタリング	評価値	あり	なし	各地区的地域防災施設整備事業により地区の避難機能を補完・強化した。この結果、避難施設の収容可能人数が増加し、赤間地区的災害時避難者対応率が上昇した。	—				
	指標2	避難時間の短縮	分	23	R1	12	R6			あり	なし	地域防災施設(防災拠点)等の整備により避難可能な場所までの避難時間が短縮された。避難時間の短縮により、災害発生初期において住民の安全性が高まり、迅速な避難が可能となった。	—				
	指標3	地区人口	人	17,281	R1	17,281	R6			あり	なし	都市基盤整備による良好な生活環境への期待感や交流機会の創出が複合的に作用し、地区的魅力が高まったことから、本地区の人口が增加了。事業効果を継続的に検証するため、今後も人口動態を注視する必要がある。	—				
	指標4	地域交流スペースの利用者数	人/月(延人數)	426	H30	476	R6			あり	なし	地域交流スペースの利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少したものの、回復傾向にある。 地域交流施設整備事業による地域の交流を図る環境の整備は、地域住民や学生との連携機会や地域の懇親会に寄与している。	令和10年6月				
5)実施過程の評価	指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定期					
	その他の数値指標1	防災対策の強化についての不満度(不満度の改善)	%	34	R1			モニタリング	評価値	25		地域防災施設整備事業や防災学習事業等の災害対応力を向上を図る本計画の実施により、防災対策の強化について不満をもつ市民の割合が減少した。	—				
	その他の数値指標2	地価上昇率	%	100	R1					106		本計画の取組みは間接的ではあるが、赤間地区的魅力向上を通じて地価上昇に寄与したと考えられる。	—				
	その他の数値指標3	宗像市東部観光拠点施設(赤馬館)利用状況	人	59,860	R1					61,695		本計画で実施した都市基盤等の整備や交流促進事業等の取組みは、地域の交流促進に相乗効果をもたらし、赤馬館の利用回数を含む地域の懐わいに寄与した。	—				

様式2-2 地区の概要

赤間地区(福岡県宗像市) 都市再生整備計画事業の成果概要